

特集

「動物との触れ合い」

信愛之友

社会福祉法人 信愛報恩会 2016年 夏号 SUMMER No.634

動物との触れ合いと医療

信愛報恩会 理事長 桑名 斉



いまをさかのぼること20年前、病院の一部を増改築しました。同時に、増改築に至る計画の中で、どのような病院の機能を選ぶかの議論がなされました。

しかし、すでに高齢化の波の中にあつたので、これからは急性期後のリハビリテーション、がんの緩和ケア、そして認知症（当時は痴呆症）のケアが大きなウェイトを占めるであろうと予測して、慢性期医療に特化した病院に転換する決定をしました。慢性期医療を主体とするということは、医療と介護や生活をトータルに考えることでもあります。急性期医療のように、治療を終えたらできる限り早く退院するのは違い、慢性期医療の入院期間は長引きます。この長い入院期間、病院内の白い壁、病室の白い天井、白い壁紙、モノトーンの廊下しか目に入らないことを考えると、いかにも殺風景で、気分がいいはずがありません。しかし、建築士さんは病院なのだからと、従来の白を基調にして清潔感を表現することにこだわりましたが、病院という閉鎖空間ではなく、できるだけ病院臭さをなくして少しでも地域で生活するマンションのようなイメージを主張するため、岐阜県のタイル工場まで何度も足を運び、タイルの大きさ、色、柄を決めました。同じように院内のインテリアについても、激論を交わしながら一つずつ決めていきました。

そして、最後に残ったのは病棟の機能とケアの仕方なのですが、各病棟においても生活の視点と病院臭さを少なくすることを考えて取り入れたことは、それまでのボランティア活動やレクリエーションのほかに、動物介在活動・介在療法、音楽療法やアロマテラピーなど補完代替療法とよばれるものです。これらは、本当は望んでいないはずの入院生活に、少しでも癒しと潤いをもたらす意味でとても大切であると思いました。

さて、病院内での動物との触れあいですが、当初は病弱な患者さんに動物のノミやダニがうつるとか、噛まれたら誰が責任をとるかなどの反対意見もありました。しかし、職員や患者さんの中には動物を飼っている人も多く、しかも普段、一緒に暮らしているのだから、急性期病院ならいざ知らず、病院だから動物を入れてはいけないというのは矛盾しているし、たまには自分が飼っている動物と会いたいのではないだろうか。

そこで、動物による触れあい活動に実績のある日本動物病院協会に相談したところ、すでにいくつかの病院では活動していて、犬、猫、ウサギなどの小動物を病院に連れてくる前には入浴を済ませ、細菌検査もした上で行っており、感染症や事故などはまったくないという信頼のもとに協力をしていただき、今も続いているという次第です。



特集



人と動物のふれあい

人と動物の歴史は、とても長く家畜として共に生活をしてきた関係から、現在ではペットとして重要な家族の一員となつています。近年、日本ではペットの飼育数が人間の子供の数を上回るほどのペットブームとなつていきます。

その背景として、心身ともにストレスを抱える現代社会があると言われています。疲れて帰ってきた時に、元気に迎えてくれる動物達に癒される人たちは少なくないでしょう。動物たちとふれあうことで、元気になったり、幸せに感じたりすることが出来ます。信愛病院では、二十年前より、この動物たちとのふれあいをJ A H Aの協力のもと、継続してきました。

J A H Aの活動

公益社団法人日本動物病院協会(J A H A)は、動物病院を核として、人と動物の共生社会の実現を目指している団体です。「人と動物が皆同じように健康で幸せに生きていくことができたなら、それは社会全体への幸福へとつながっていく」と、活動を行っています。

その一環として、動物とのふれあいや、医療や福祉、教育の現場において、人と動物の相互性から生まれる様々な効果を活用するアニマルセラピー(C A P P)を行っています。

公益社団法人 日本動物病院協会(JAHA)



受付時間：月～金 9:30～17:30

TEL：03-6262-5252

アニマルセラピー(CAPP)に関するお問い合わせ

TEL：03-6262-5770

URL：http://www.jaha.or.jp/contents/index.php

ふれあいの「動物介在活動」

動物介在活動は、動物とふれあうことによる情緒的な安定、レクリエーション、生活の質の向上を目的とした活動です。信愛病院では毎月一回(病棟は隔月)実施し、今年からは信愛の園でも導入しました。活動の様子をご紹介します。

動物と触れ合いたい方は、病棟のデイルームに集まります。季節の歌を歌いながら会場を一回りして、緊張をほぐします。2箇所で行ううちの1グループには3〜4頭の動物たちが訪問します。

動物は、犬、猫、ウサギなどです。名前の紹介があると、ハンドラー(飼い主)と動物が一人ひとりの傍に訪問します。なでたり、膝の上にのせたり、ボール遊びをしたりします。体の状態が悪くてデイルームに出られなくても、希望があれば、ベットサイドにも訪問してくれます。

ペットを飼っていた人も、そうでない人も、動物たちに癒されるひと時です。普段は表情が乏しい方が笑顔になったりするのは、毎回のできごとです。一緒に参加する家族やスタッフも笑顔となります。



唯一の猫ちゃん大人気



手をつないでハイチーズ♪



自慢の芸のお披露目



動物達との触れ合いで
笑顔になれるひととき

リハビリで「動物介在療法」

動物介在療法は治療プログラムに動物を介在させて行う補助療法です。

信愛病院では、精神的・身体的機能の維持・向上や社会性の維持・向上を目的にリハビリテーションの一環として動物介在療法を行っております。作業療法士が個々の患者さまに合わせた目標を設定してプログラムを選択しています。これまでプログラムの開発や効果の研究を行ってきました。プログラムの一例には、脳卒中の



信愛ファミリー勢揃い

後遺症で片手が動かしづらくなった患者さまに、犬の毛並みを整えるブラッシングを行っていただくものがあります。ただ手を動かすのではなく、ブラッシングによって動物が喜ぶ姿を見ながら、力加減のコントロールや動かせる範囲が広がるなど、様々なリハビリテーションへの応用ができます。

多くのボランティアに支えられて

アニマルセラピー（CAPP）にご協力いただいているボランティアさんは、獣医師の他、ハンド

ラーの方々と各家庭で家族として幸せに暮らしている動物達です。JAH Aで活動するためには、適性があるかどうか、健康診断を定期的に受けるなど常に安全・安心にも配慮されています。

この二十一年間に本当に多くの皆さまと動物達に素晴らしい出会いのひとときをいただきました。紙面を借りて、赤坂動物病院総院長柴内先生を始め、スタッフ、ボランティア、動物たちに心より感謝を申し上げます。



清戸に「まめ」がやってきた

一昨年に開設した清戸の里（清瀬市下清戸）では、柴犬のまめが共に暮らしています（まめの紹介は次ページ）。少しお転婆なまめですが、清戸の里のご利用者にとっては、大切な家族となっています。高齢者にとってペットと暮らすことは、

- ・孤独感をまぎらわす
- ・ストレス解消
- ・運動不足の解消

・リハビリなどの効果が期待できるといわれています。

人生の伴侶としての動物

近代看護教育の母と言われるナイチンゲールは、ペットが病人に与える影響について「小さなペットは病人、特に長期にわたる慢性病患者にとってコンパニオン（人生の伴侶）となることが多くあります。長期間同じ病室で寝たきりになっている患者の唯一の楽しみが籠に飼っている小鳥だったということがよくあります。もし患者が餌を与えたり、掃除をしたりといった世話ができるようだったら、すぐにそうしたチャンスを与えてあげるべきでしょう」と言っています。

信愛病院では、申請して許可があれば、ご自宅で飼われていたペットを面会で連れてくることができ、面会を楽しみにしている患者さまもいらっしゃいます。動物が苦手な方もいますし、衛生面や動物の性格などへの配慮は必要ですが、人生の伴侶として最期まで共に過ごせる病院や施設が増えていくことを願っています。



～ 共に歩む～

このページでは、信愛報恩会のスタッフやボランティアさんをご紹介していきたいと思
います。今回は、清戸の里の柴犬と信愛報恩会の事業にご協力いただいている JAHA(公益社
団法人日本動物病院協会)の動物達をご紹介したいと思います。

柴犬 “マメ” 10才

名前由来
鼻が「豆」みたいに小
さかったから“マメ”っ
ていう名前なの。

お気に入りの場所
狭い場所が好き。特に持
ち運び式のケージの中
がお気に入り！

チャームポイント
クリツとしたアーモン
ド形の目が可愛いで
しょ。

お願い
頭の上から撫でられるの
が苦手だから、下から手
を出して撫でてくれると
嬉しいなあ。



JAHA で活躍する動物達



モウモウ



モモ



モモ



花音



マロン



木蓮



ジョイ



五右衛門



ハナ



ポコロ



トム



カツタ



アミー



信愛報恩会お知らせ



時間:10~14時(雨天決行)
場所:信愛の園玄関前、他

第36回しんあいバザーを9月4日に開催いたします。5月からバザー寄付金、寄付物品の回収を行っています。是非、ご協力をよろしくお願いいたします。バザー内容の詳細につきましてはチラシをご覧ください。

人事異動報告

「信愛の園」

6月1日付 施設長に後藤晴文が就任

「信愛苑」

6月1日付 苑長に分須隆幸が就任



AUTUMN IS THE ARTS.

しんあいアートフェスタ 2016

期間:2016年10月31日(月)~11月5日(土)

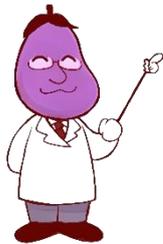
場所:信愛の園 ふれあいホール

今回のアートフェスタは作品展示のほかにも新たにコンサート、体験コーナー、よろず相談など様々なプログラムをご用意しています。

絵手紙コンテストにつきましてはコンテスト概要をご覧ください。たくさんのご応募お待ちしております。

病院機能評価受審報告

信愛病院では今年の1月28日、29日に「公益財団法人日本医療機能評価」を受審しました。受審の結果、慢性期病院とリハビリテーション病院として認定を受けることが出来ました。これからも職員一同更なる医療と介護の機能向上に取り組みたいと思います。



「糖尿病の治療」

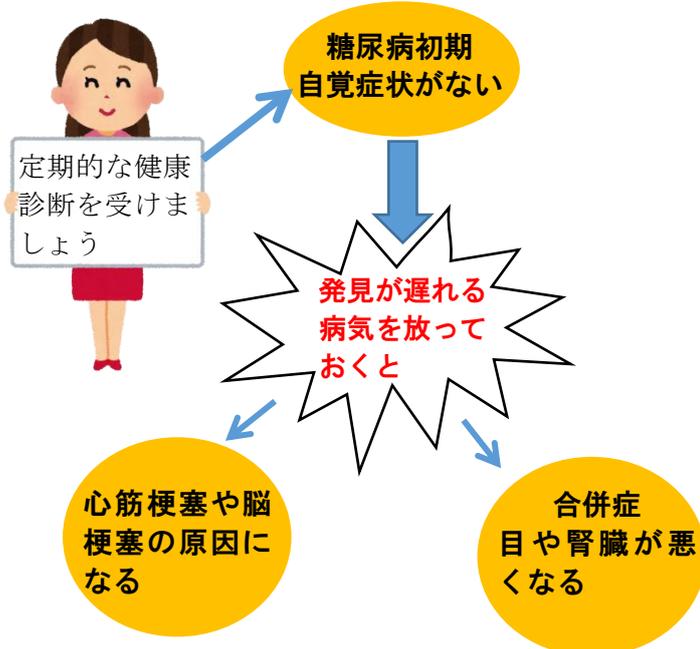
信愛の友冬号(No632)では高血圧の話でしたが、今回は糖尿病の話をしていきます。糖尿病も高血圧と同じようにたくさんの方が治療されています。

糖尿病という病気はどんな病気でしょうか？糖尿病は血液のなかにあるブドウ糖（血糖値）が普通よりも高くなる病気です。血糖値が高くなると尿にブドウ糖が出てしまうので尿にブドウ糖が多くなり「糖尿」という状態になってしまいます。

糖尿病の原因は、もともと血糖値を下げる力が弱っている人や、食べ過ぎ栄養の取りすぎで血糖値が高くなってしまふ人など、さまざまな原因があります。糖尿病の症状は、病気が重くなると、疲れやすい、のどが渇くなどの症状がみられ、より重症になると意識を失う状態になる場合があります。しかし、病気がそれほど重くないとあまり症状はありません。糖尿病は症状がないため、健康診断でわかる場合が多いのです。

さて糖尿病がなぜ話題になる病気なのでしょう（下記図）。それは、糖尿病をほうっておくと10年20年後に脳梗塞や心臓病などになりやすくなります。そして糖尿病は特に目や腎臓が悪くなり生活が困難になりやすいことが特徴です。そんな重大な病気にならないように、糖尿病は治療を受けて生活に気を使わなければなりません。

糖尿病の治療の目的は10年20年後の脳梗塞や心臓病にならないようにすることです。



図：「糖尿病の予防」

糖尿病の治療作戦



1. 生活の工夫（健康的な生活をする）
 - ・ 禁煙、痩せる、運動、ストレスをためない等
2. 高血圧の治療またはコレステロールの治療
3. 血糖値を下げる治療
 - ・ 飲み薬、注射など



糖尿病の治療の作戦は大きく分けて3つになります（上記表）。1つは、生活の工夫です。タバコを吸っている場合は禁煙すること、少しやせること、運動すること、早寝早起きをすること、しっかり休んでストレスをためないなど、いわゆる健康的な生活をすることです。

2つ目は、高血圧があれば血圧の治療、コレステロールが高い場合はコレステロールの治療になります。血圧やコレステロールが異常な値だとさらに脳梗塞や心臓病になりやすくなるからです。

そして3つ目は、薬を使って血糖値を下げる治療です。飲み薬や注射などでその人にあった方法で治療を行います。高齢者の場合は薬による治療を行う場合には注意が必要です。薬が多すぎると血糖値が下がりすぎ（低血糖）、意識が無くなったり生命が危険な状態になる場合があります。

Point「治療の目標は『脳梗塞と心臓病の予防』」

まとめです。糖尿病は重大な病気の原因になります。健康的な生活をおくことや薬で治療することで、ある程度は脳梗塞や心臓病などの予防ができます。糖尿病の治療において血糖値を下げることは1つの方法にすぎません。生活の工夫や高血圧などの病気の治療がとても大事なことになります。糖尿病、高血圧などの病気の治療は「血圧、血糖値を下げること」ではなくて『脳梗塞、心臓病を予防すること』が最大の目標になります。予防には健康的な生活がとても大事になります。

ほっとスマイルケア

日々のケア場面で突き当たる「どうしたらいいの？」をほんの少し解消

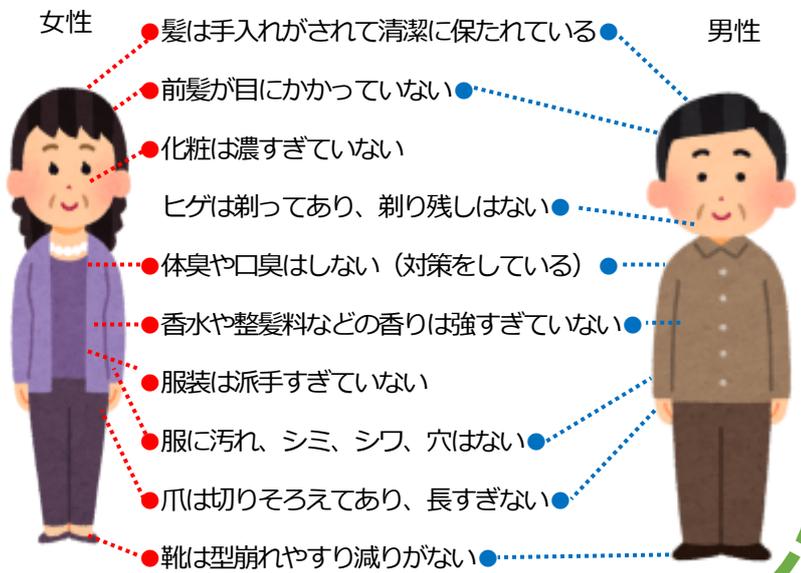
次号は「気持ちを伝える」

今回のテーマは、「みだしなみ」

季節はあっという間に夏です。薄着になり、うっかりするとだらしない格好になってしまいがちな季節です。初対面の方が相手を判断する際、見た目が9割を占めると言われています。となると、まずは見た目が大切になるのですが、間違っているとえがちなのが「おしゃれ」です。お化粧したり、髪を染めてみたり。きれいになったからいいと思われるかもしれませんが、見た目だけでなく、においなども相手に与える影響は考えなくてはなりません。「おしゃれ」は自分のためのもの、「みだしなみ」は相手のことを考えてのものとされます。自己満足ではなく相手がどう思うかを考えてみるのが大切です。

(人材開発室 藤井)

身だしなみチェック



いきいき生活 始めの一步

“ロコトレ”でロコモ予防をしよう

足腰の障害によって「歩く能力」が低下した状態、「要介護リスク」が高まった状態を表す新しい言葉として『ロコモティブシンドローム（以下『ロコモ』）』が提唱され10年近くが経過しました。

『ロコモ』と聞いて知っている、自分にも関係があると思っている方も多いと思います。そこで今回は、『ロコモ』の予防と改善方法を紹介します。

それは、普段の生活動作にプラスアルファの運動と適切な栄養摂取をすることです。『ロコモーショントレーニング（以下『ロコトレ』）』で筋肉と骨に適度なストレスをあたえることで筋肉と骨が強くなろうとします。そこで必要になるのが体内

では合成できない必須アミノ酸を多く含む動物性タンパク質(肉や魚など)とカルシウムです(左図)。

最後に、『ロコトレ』を生活のなかに取り入れるには、無理せず辛くない程度のことから始めることが長続きさせる秘けつです。(信愛病院 理学療法士 西久保)

おすすめの『ロコトレ』

ふくらはぎを鍛える 「つま先立ち」



- ①つま先立ち
 - ②2～5秒間保つ
 - ③ゆっくり踵を下ろす。
- ※15回繰り返し、1日2～3セット行う
※座ったまま行っても効果があります

太ももを鍛える 「スクワット」



※最初は10回を目標。慣れてきたら、15回20回と回数を増やす。(無理の無い範囲)

ロコモの予防と改善

毎日の運動



体を支える丈夫な骨と筋肉



タンパク質と乳製品



清瀬信愛教会

牧師 竹前 治

きに用いられる動物です。ロバは馬などに比べると、頭をたれていくように見えます。その姿からロバは柔和な象徴として聖書には書かれています。

イエス様が最後の一週間を過ごされる時にロバの子に乗ってエルサレムに入場されたことが聖書に記されています。イエス様は神様の子でありますから、馬など立派な動物に乗って入場されてもよかったですのではないかと考えます。しかし、イエス様がロバの子に乗って入場されたことには、大きなそしてとても重要な意味があるのであります。ロバは柔和の象徴であると書きました。つまり、イエス様がロバの子に乗られたことは、イエス様が柔和なお方であることを示しています。イエス様は柔和で、すべての人の重荷を担うお方であるのです。

聖書に見る動物

「シオンの娘に告げよ。『見よ、お前の王がお前のところにおいてなる、柔和な方で、ろばに乗り、荷を負うろばの子、ろばに乗って。』 弟子たちは行って、イエスが命じられたとおりにし、ろばと子ろばを引いて来て、その上に服をかけると、イエスはそれにお乗りになった。』
(マタイによる福音書 21:5-7)

聖書には沢山の動物が出てきます。今回は沢山いる動物の中からロバを取り上げます。ロバは皆さんも良くご存知の動物であります。イスラエルなどでは荷物を運ぶと



集会のご案内

主日礼拝 日曜日
○信愛病院内外来
9:20~10:00
○教会礼拝堂
10:30~11:45

チャプレンだより

「聖書と賛美の会」

信愛苑の聖書クラブを紹介しました。信愛苑の月一回の聖書の会で、聖書の一ページから始まる地球の創造を記した「創世記」を学んでいます。

創世記は、宇宙・地球の創造を神がなされたと言信的に受け止めた世界創造の壮大な物語から、五十章に及ぶ人間世界の人物達の物語で、紀元前七千年から紀元前二千五百年の歴史が書かれています。その中で一族長アブラハムの物語は、神への信仰と不信仰を繰り返しつつ信仰の祖となる話です。アブラハムは一七五歳まで生きた人物ですが、その人生はまさに波乱万丈でした。

参加者と共にアブラハムを導いた神と彼の試練の生涯を語り合い、戦中戦後を生きて来た参加者と人生を振り返るひと時があります。



チャプレン
武井 アイ子

編集後記

信望愛

我が家には二人の娘がいますが、近くのショッピングモールに行くと、ペットショップに行くのが定番コースとなっています。子供たちは毎回どの子を選んで帰るか悩み、何度も可愛い動物達と目が合っていますが、今のところはメダカとザリガニしか実現していません。いつの日か、我が家に新しい家族を迎えるために、部屋の掃除をしています。

さて、信愛の友編集チームが新しくなり、内容もリニューアルして、この号で6号目となります。以前は、編集校正を外注にしていたのですが、現在は編集も自分たちで行っています。前号でプロジェクトメンバーの紹介をしました。我が一番の若手ホープが編集を一手に引き受けてくれています。「伝える」ということは、とても難しいのですが、なるべく「わかりやすく」ということをモットーに今後もお届けしていきたいと思えます。ご支援よろしくお願ひいたします。(北川)



〒204-0024
東京都清瀬市梅園 2-5-9
TEL 042-433-4300
FAX 042-433-4301
honbuad@shin-ai.or.jp

編集発行人：鏡 勉
信愛の友編集委員会
次号は、10月後半予定
特集「ホスピス緩和ケア」